

一般社団法人電動車両用電力供給システム協議会 (EVPOSSA)

2021 年度事業計画書

2021 年 4 月 1 日 ~ 2022 年 3 月 31 日

1. まえがき

日本では政府の成長戦略フォローアップにおいて、2030 年までに新車販売に占める次世代自動車の割合を 5~7 割とおいた施策が今後も展開されます。また、カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略においては、環境側面としての 100%電動車化に向けた施策が展開されることとなり、さらなる普通充電インフラの普及整備が望まれるところとなって参りました。

さらには、電動車両は非常時電源としての活用が期待されており、災害の多い日本においては、災害における停電等発生時の電力インフラとして充電器が果たす役割も次第に高まってくるものと思われまます。

また、コロナ感染予防対策としてのテレワーク化や、通勤時等のソーシャルディスタンスへの意識も深まっておりますが、マイカーを電動車両とすることで、これらの対策手段のひとつとしても利用されることが考えられます。

普通充電インフラの普及に向けての導入補助金制度については、2020 年度は 8.9 億円で整備されました。今後は上述のような電動車両とセットでの社会的価値の向上の施策が展開していくものと考えられ、普通充電インフラでの新たな需要・価値の創出や施策の提言、といった普及策の展開が望まれる状況となっております。

EVPOSSA では、今後急速に増えると予測される電動車両に合わせ、2030 年において EV/PHEV と同等数以上の普通充電器の普及を目指し、その促進活動とこれにかかわる協議を進め、関係省庁及び関係団体のご指導とご支援を頂き、会員の皆様とともに安全・安心な普通充電インフラの普及に向けて引き続き積極的に取組んで参ります。

2. EVPOSSA の活動

2.1 インフラビジョン

EVPOSSA の活動の更なる充実に向けて、電動車両用電力供給システムにかかる視点から下記に掲げるビジョンを基本方針として具体的成果の得られる活動を行います。

- (1) 移動したくなる社会づくり
- (2) コミュニケーションの活性化
- (3) 人にやさしい普通充電インフラの提供
- (4) 自然・災害に強い仕組みづくり

2.2 部会の活動計画

技術課題検討部会

活動内容

- (1) 電動自動車用充放電システムガイドライン、検定基準の改定
- (2) 他団体との連携による技術課題抽出および解決策の検討
- (3) 発行済み技術資料の最新情報に即した内容への更新

普及促進部会

活動内容

- (1) 普通充放電インフラ市場の拡大
- (2) ユーザーの利便性向上
- (3) 関係団体との連携
- (4) EVPOSSA の価値向上